

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	環境センター担当課長	佐藤 光夫
環境-29 笹田リサイクルセンター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境センター
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針
			3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。
効果	ごみの発生抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笹田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	140,416	138,818	当初予算(千円)	158,374			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	58,169	58,945	その他	50,136			
	一般財源	82,247	79,873	一般財源	108,238			
	人員配置数	3.5	3.5	人員配置数	4.0			
事業経費運営	人件費(千円)	26,312	26,894	人件費(千円)	31,117			
	総事業費(千円)	166,728	165,712	総事業費(千円)	189,491			
	市民1人当りの経費(円)	940	935	市民1人当りの経費(円)	1,071			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー NPO法人 鎌倉リサイクル推進会議

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	廃棄物の減量・資源化に関する啓発を行うとともに、施設の適切な維持管理を今後も実施していかなくてはならないため。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	一般廃棄物処理の性格から、適正かつ安定的な処理が不可欠である。そのため、今後も施設の適切な維持管理、効率的な運転に努めていく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	電気使用量の目標値を達成する。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	施設の適切な維持管理、効率的運転等を行い、電気使用量の削減に努め、目標を達成した。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	電気使用量の削減	単位	kwh	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
施設を管理する上で、電気の使用は不可欠であるが、節電等の実施は考える必要はある。(街路灯は除く)	目標値	380,000.0	380,000.0	375,000.0	370,000.0	365,000.0	360,000.0
	実績値	319,910.0	326,485.0				
	達成率	84.2%	85.9%				
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	施設を管理する上で、電気の使用は不可欠であるが、市職員及び委託作業員による節電への積極的な努力は必要であり、また各機器の運転操作等の見直しにより、更なる削減が見込まれるよう周知・実施を行っていきます。						

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---